

教科名	音楽	科目名	声乐（2年次）【2単位】	
授業形態	実技演習、発表が中心の授業展開 必要に応じて講義、鑑賞を含む			
選んでほしい生徒	音楽Iを履修した者で、音楽での受験を考えている場合は、2、3年次と継続履修することが望ましい。声乐に興味・関心があり、意欲的に学ぶことができる。			
科目の目標	声乐に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。			
身に付けてほしい学力	楽曲の表現内容を理解するとともに、表現するために必要な声乐の技術を身に付け、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を高める。四年制音楽大学、短大及び音楽系専門学校受験に対応できる基礎的な声乐の能力の習得を目指す。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】 呼吸法と発声法の基礎 コンコーネ50番練習曲（1～7番より） イタリア古典歌曲</p> <p>【2学期】 コンコーネ50番練習曲（6～13番より） 歌曲またはアリア 声乐アンサンブル</p> <p>【3学期】 コンコーネ50番練習曲（15～17番より） ア・カペラ、日本歌曲 1年間のまとめ</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンコーネの歌唱を通して、基礎的な歌唱法等についての理解を深める。</li> <li>・イタリア古典歌曲などの歌唱を通して、声乐の技術を高めるとともに、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する姿勢を身に付ける。</li> <li>・アンサンブル活動を通して、演奏の共有や相互評価を積極的に行い、感性を高める。</li> <li>・1年間の学習のまとめをする。</li> </ul>	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	・声乐に関する音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、意欲的・主体的に学習に取り組もうとする。	・楽曲を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受することで表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現することができる。	・創意工夫を生かした音楽表現をするための、基礎的な声乐の技術を身に付け、創造的に表している。	・楽曲の表現内容を理解し、よさや美しさを創造的に味わい、演奏に関する自己評価や相互評価をすることができる。
	上記の観点を踏まえ、実技試験、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実技演習が中心であるため、休まず授業に出席して能力の向上に努めたい。</li> <li>2 自己評価や相互評価を積極的に行い言葉にして伝えることで、感性を高めたい。</li> <li>3 定期考査では発表形式の実技試験とレポート提出を実施するため、学習した内容をまとめておくこと。</li> </ol>			
教材費	945円（全音楽譜出版 コンコーネ50番）			
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 何かの検定につながることはない。</li> <li>2 音楽大学受験のための学習が主であるが、それ以外の生徒の選択も可能である。</li> </ol>			